

文化の振興に貢献された方

故 菅谷文則さん (榛原あかね台)



氏は、昭和43年に奈良県教育委員会の技師として採用され、文化財保存課や奈良県立橿原考古学研究所、シルクロード学術センターなどで勤務されました。その間、飛鳥京跡時代の古墳や遺跡発掘、また東アジア考古学などの調査研究に情熱を傾けられ、数々の功績を残されるとともに、北京大学への留学を通じ、日中の考古学交流にも大きく貢献されました。

平成21年から約10年間は、奈良県立橿原考古学研究所所長を務められ、この間も古墳や寺跡などの発掘調査を指揮される一方、宇陀市を含めた各地での講演活動や執筆活動なども精力的にこなされました。また、宇陀市文化財保護審議会会長、史跡宇陀松山城跡保存整備委員会委員を歴任されるなど、研究者としてだけでなく、市の文化の振興にも顕著な功績を残されました。(令和元年6月18日ご逝去)

功労表彰受章者の方々



西 紀男さん (大宇陀西山)

教育功労者

氏は、昭和40年に大宇陀西山に「西医院」を開業され、以来平成29年に廃業されるまでの間、大宇陀地域の小中学校、こども園において学校医として活躍され、幼児や児童生徒の健康状態の把握や、健康相談等に從事されるなど、市の教育の振興に大きく貢献されました。

また、平成9年に医療業務功労で知事賞を、10年には保健衛生功労で藍綬褒章を受章されています。



林 英實さん (室生三本松)

体育功労者

氏は、平成11年から宇陀市スポーツ推進委員として活躍され、市民のスポーツ推進のため、組織の育成および連絡調整役として尽力されています。平成25年からは、宇陀市体育協会副会長、29年からは同会長を務められるなど、スポーツ振興を通じて、市の体育の増進に大きく貢献されています。

また、平成21年に奈良県スポーツ推進委員功労者表彰、28年には県体育協会功労者表彰を受賞されています。

市政発展のためご尽力いただきました

宇陀市選奨式を挙行政

11月23日、市役所で「令和元年度宇陀市選奨式」を挙行政しました。

この式典は、市や行政の推進のために貢献された功績が特に顕著な方を表彰し称えるもので、今回は選奨受章者5人、功労表彰受章者2人の方々を表彰しました。

このような機会を通じ、市民の皆さんと共に、これまでの市政の歩みや市の将来を考えるとともに、今後のまちづくりへより積極的な支援をお願いしたいと思います。



選奨受章者の方々

自治振興または公益の増進に貢献された方



数家鉄治さん (榛原あかね台)

氏は、平成18年10月から宇陀市行政改革推進懇話会の会長を務められ、宇陀市合併後の厳しい財政状況を打開するため、宇陀市行政改革大綱の策定に尽力されました。

第1次大綱から、現在推進中の第3次大綱策定まで13年間の長きにわたって心血を注がれ、これらに基づいて推進された行政改革の取り組みの結果、市の行財政状況の改善に大きく貢献されるなど、市の自治の振興に顕著な功績を残されました。



竹田一雄さん (大宇陀野依)

氏は、大宇陀町役場の職員としての行政経験や、地域における社会的信用が認められ、平成15年4月に総務大臣より行政相談員として委嘱されました。

以降、行政相談員として16年間の長きにわたり、行政サービスや手続き等に関する問い合わせなど、多岐にわたる相談を受け付け、その助言や関係行政との調整業務を担うなど、地域住民の身近な相談窓口として活躍され、市の自治の振興に大きく貢献されました。

産業の振興に貢献された方



服部元明さん (室生三本松)

氏は、昭和49年に室生村商工会理事に就任され、平成12年から20年までの間は同会長を務められました。宇陀市商工会発足後は理事を、平成28年から30年までは同副会長を務められました。

この間、平成12年からは18年間、道の駅「室生路室生」の指定管理先である有限会社室生ふるさとセンターの代表を務められるなど、長年にわたり宇陀市の商工、観光業の発展に寄与され、市の産業振興に大きく貢献されました。



峯山久恵さん (菟田野岩端)

氏は、平成19年7月に「いわはし農村レストラン」を結成され、高齢者を対象とした配食サービスや「農村料理を楽しむ会」の催しのほか、農村に伝わる郷土料理等のレシピ化などに取り組まれています。

平成26年には近畿農政局男女共同参画優良事例表彰を受賞されるとともに、奈良県農村生活研究グループ協議会にも属され、農村暮らしの良さを伝える活動を展開するなど、地域振興、市の産業振興に大きく貢献されました。



年末年始の業務状況や各施設の休館情報は、広報うだ12月号や市HPをご覧ください！

12/28 ~ 1/5 市役所業務は休業します



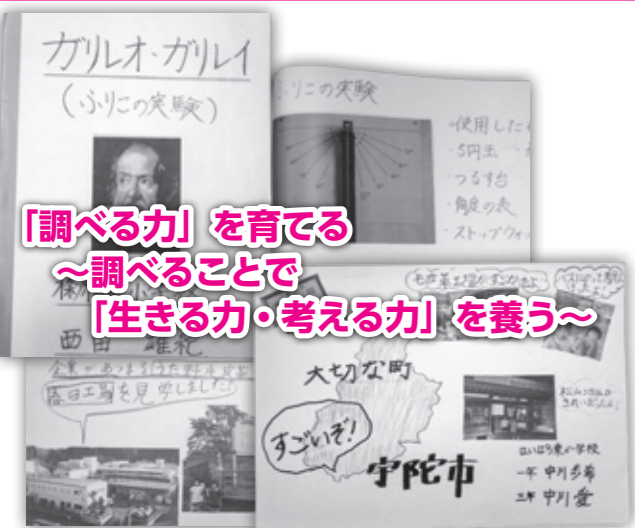
宇陀市公式LINEや市ホームページでは、AIを活用して24時間365日、利用可能な「よくある質問」自動応答サービスを行っています。例えば、「ゴミの収集日はいつ?」「年末年始の業務について」など、行政サービスに関する様々な質問にお答えします。

このシステムは日々情報を追加しています。一度質問してうまくお答えできなくても、しばらくするとお答えできるように成長していきます。ぜひ、ご活用ください。

公式アカウント名: 宇陀市 LINE ID: @uda-city



Informational graphic with a mascot character and various questions: 住民票のコンビニ交付の仕方は? 割れたガラスの出し方は? ゴミの収集日は? 休日診療 年末年始の休館日は? 急な発熱 どうしたらいい? スマホで税金納められる?



▲コンクール入賞者（敬称略）
前列左から、箸中結慎/西田雄紀/中川愛・歩希
後列左から、竹中祐人/松村菜里/岩竹美侑
【表彰式欠席者】林 千畝/坂部優美

教育長賞	西田雄紀 『ガリレオ・ガリレイ （ふりこの実験）』	榛原東小 5
図書館長賞	中川歩希・愛 『わたしたちの大切な町 すげーぞ！宇陀市』	榛原東小 1・3
奨励賞	箸中結慎 『ジンベイザメについて』 松村菜里 『地球温暖化』	榛原西小 2 室生小 5
特別賞	竹中祐人 『ぼくの町の石ころ図鑑』 岩竹美侑 『自然がつくる絶景 オーロラ』 林 千畝 『大うだのへびについて』 坂部優美 『なすの花と実 ～かんさつをとおして～』	榛原小 4 榛原東小 5 大宇陀小 3 菟田野小 3

今後も図書館の活用により、子どもたちが新たな発見をしていくことを願っています。

図書館で「調べる力」を磨こう！ 第3回「図書館を使った調べる学習コンクール」 地域コンクールを開催

問 中央図書館（☎82・4749 / IP ☎88・9110）

このコンクールは、子どもたちの「調べる力」の育成を目的に、（公社）図書館振興財団により毎年開催されています。市では、全国大会に先立ち、地域コンクールを開催。
子どもたちは、自分が知りたいと思つたことなど自由にテーマを決め、図書館の本を使って調べ、実験や観察を行い、その成果を作品にまとめました。
市内小学校からは31作品の応募があり、受賞の中から、教育長賞、図書館長賞の上位2作品は全国大会に応募します。

宇陀けあネット本格稼働！

問 健康増進課（☎82・3692 / IP ☎88・9087）

宇陀けあネットが、令和元年6月から本格稼働をしていることから、その広報啓発を目的に「宇陀けあネット・キックオフ記念式典」が11月16日開催されました。
当日は、関係者および医師、看護師、介護士など、市内外から約70人が参加し、システム概要や今後の活用性、市民の方々にどのような有用にしていけるかなどの課題研究を行いました。

意見交換会では、「地域内の医療・介護機関から多くの情報を共有していかなければならない」「地域包括ケアの本来の目的を全うしなければならぬ」「地域の方々の医療や介護や生活をどのように支えていくか考えなければならぬ」、などの問題提起があり、今後に向けての共有認識を得られました。
11月1日現在、宇陀けあネットの同意参加者は5467人、医療介護参加施設は87事業所となっています。皆さんの参加をお待ちしています。

宇陀けあネットとは？

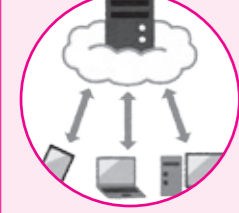
宇陀けあネット（宇陀地域医療・介護連携ネットワーク）は、皆さんの医療・介護情報を、病院、医科・歯科診療所、訪問看護、薬局、介護サービス事業所などで共有することで、よりよい医療・介護を提供するためのネットワークです。



初診・救急の時も安心
参加事業所では、あなたの医療介護情報を共有します

適切な医療・介護サービス

共有された情報に基づき、あなたに適した医療介護サービスが提供できます



災害時の情報保護
情報はクラウド上に保存されるため災害時でも情報を失うことはありません

アイデア満載！宇陀のグルメが熱い戦い！！ 奈良あつたがもんグランプリ宇陀予選結果

精霊の森（大宇陀）「大和当帰と酒粕のシチュー」最優秀！

可能な限り宇陀産の食材を使用した、身体に優しい温まるスープ♡
大和当帰がアクセントになっています♪
こういった活動を通して宇陀の薬草をみんなに知ってもらいたいです（^^）



うだ産 2019 フェスタ

宇陀市の食と産業など魅力満載のイベントを11月30日～12月1日、総合体育館で開催！

2日間合わせて、約5,500の方が来場され、宇陀の魅力を堪能いただきました！

同時開催 農林産物品評会・即売会 結果

展示会場では、丹誠込めて育てられた見事な農林産物（出品者：65人、出品数：208点）が勢揃い。即売会の収益金51,600円は、出品された方々のご厚意により、市の善意銀行に預託させていただきました。【敬称略】

【特賞の部】	氏名	品目
県知事賞	辻 公美子（榛原）	白ネギ
県議会議長賞	小西 源藏（菟田野）	かぶら
県東部農林振興事務所賞	谷口 利依子（室生）	ブロッコリー
市長賞	前尾智恵子（大宇陀）	大根
市議会議長賞	北脇 正文（大宇陀）	里いも
市農業委員会賞	神谷 太一（榛原）	ほうれん草
県農業協同組合代表理事賞	安達 俊平（大宇陀）	栗
県農業共済組合組合長理事賞	芳岡 敏夫（大宇陀）	玄米
市森林組合代表理事組合賞	立見 美代子（榛原）	しいたけ
室生村森林組合代表理事組合賞	南 隆志（室生）	原木しいたけ

【入賞の部】	氏名・品目
市長優秀賞	大久保 艶子（榛原）白菜、（株）福角兄弟農園（榛原）ミズナ、藤田 貢（榛原）小かぶ、西山 悦子（室生）一本ネギ、多田 善英（榛原）玄米
市長特別賞	福角 登（榛原）にんじん、北中 利一（榛原）ごぼう、室 徳司（榛原）長いも、久保 賀子（菟田野）たまねぎ、やまとファーム Japan 椿井 佐知子（室生）キウイ



①屋外ステージはコンサートやPRコーナーでにぎやか♪
②飲食ブースは美味いもんいっぱい！③農産物の即売会では長蛇の列が！
④今年初参加のふわふわ遊具♪子どもたちに大人気！

広報うだ設置場所

- ◎市文化会館
- ◎あきののゆ
- ◎歴史文化館「薬の館」
- ◎まちづくりセンター「千軒舎」
- ◎まちなみギャラリー「石景庵」
- ◎うだ・アニマルパーク
- ◎椿寿荘
- ◎道の駅宇陀路大宇陀
- ◎アグリマート
- ◎菟田野分館
- ◎子育て支援センター
- ◎奈良カエデの郷 ひらら
- ◎南都銀行 菟田野支店
- ◎大和富士ホール
- ◎市立中央図書館
- ◎市総合体育館
- ◎伊那佐体育館
- ◎榛原ゲートボール場（玄関口ボックス）
- ◎たかぎふるさと館
- ◎自主放送スタジオ
- ◎天満台東交流センター（玄関口ボックス）
- ◎ひのき坂公民館（玄関口ボックス）
- ◎榛見が丘集会所（玄関口ボックス）
- ◎観光案内所「うだ観処」
- ◎保養センター美榛苑
- ◎歴史文化館旧旅籠「あぶらや」
- ◎平成榛原子供のもり公園
- ◎わくわく宇陀いち
- ◎さんとぴあ榛原
- ◎中山台コミュニティプラザ（玄関口ボックス）
- ◎道の駅宇陀路室生
- ◎室生福祉保健交流センター
- ◎ふるさと元気村
- ◎近鉄榛原駅
- ◎近鉄室生口大野駅
- ◎三本松郵便局
- ◎市役所[1階ふるさとテラス]
- ◎各地域事務所

市内各コンビニ店舗にも設置させていただきます
ぜひご利用ください

ワンチームで作る宇陀市の給食！

【宇陀市立学校給食センター 辰口明子(学校栄養職員)・辻 忠昭(調理員)】



①給食センターはワンチーム ②食育授業コンテストの様子 ③小学校の家庭科の授業にも呼んでいただいています ④大会の調理コンテストに向け連日練習

12月7〜8日、東京で開催された全国学校給食甲子園で、2度目の準優勝となりました！

この大会は、私たち給食センターにとって、目標の一つです。決勝大会に出場する事により、子どもたちに喜んでもらい、おいしい給食を少しでも多く食べてもらえれば。そして、子どもたちの心と体の成長に良い影響を与え、ともに、残食を減らすことにもつながればと思っています。

私たちがこの決勝大会に出場できるようになったのは、こういった思いから、栄養士・調理員・職員が、食育の一つとして「ワンチーム」で取り組んでいるからなのです。

みんなの知恵と思いが詰まった献立

今回の大会では、原点に立ち帰ろうと、「①子どものリクエスト+②郷土料理+③地元食材+宇陀の自慢給食」を献立のテーマにしました。

①榛原小学校で行った食育学習で、子どもたちが考えたリクエスト料理は「野菜たっぷりの手づくりハンバーグ」。

②郷土料理としては、当センターの自慢でもあるお出汁による「にゅうめん」。また「きらず（おから）の炊いたん」は奈

給食から食育の推進を！

今、私たちが取り組んでいるのは、「地産地消」「郷土料理の伝承」そして「おいしい給食」です。私たちが給食づくりを通して、皆さんに伝えなければならぬのは「食べることの大切さ」だと思っています。

給食センターとしての今後の目標は、食育の推進。そして決勝大会に挑み続けることです。いろんな機会を通じて、給食に対する関心を持ってもらって、学校や子どもたち、保護者、そして生産者の方たちと一緒に、もっと食育のことを考えていけたら・・・。

様々な人のいろんな気持ちが詰まった給食を食べて、子どもたちが育ってくれば嬉しいです。

「災害時＝ワンチーム」の意識をもつてー！

【宇陀市役所 上西剛司(危機管理課)・松下充男(税務課)】

11月7〜12日、関西広域連合派遣職員として、台風19号の被災地、栃木県佐野市へ行ってきました

佐野市は、台風による大雨で堤防が決壊し、住宅地に濁流が押し寄せ、床上浸水が多数発生、一時複数の住宅が孤立する事態に陥りました。

現在、現地は災害における復興期であり、その中で被害者の方々の生活再建に向けた支援制度のための罹災証明書の発行が急務となっています。もし罹災した際、皆さんが災害見舞金や国民健康保険料や市民税などの減免措置、また再建資金の貸付などを受けたたりする場合には、罹災証明書が必要になります。そのため、罹災証明書の調査業務支援が今回の私たちの任務でした。

現地に赴いて驚いたことは、被災から1か月経った今でも、至る所に当時の爪痕が強く残っていたこと。現地は広大な平野なこともあり、程度の差があるものの市内全域にわたって浸水被害に遭ったことが容易に分かりました。

罹災時には下水の逆流があったため、今でも悪臭が消えない場所がありました。住民の方にとっては、この匂いが当時の記憶を引き戻すきっかけになるな

「宇陀市を守る」の気持ちのもと、ワンチームで災害に負けないまちづくりを進めましょう！



①写真左 松下、同右 上西 ②洪水により破損した橋梁 ③住宅地に押し寄せた土砂は未だ土嚢袋のまま回収されていない ④災害対策本部の状況 ⑤住家には浸水時の痕跡が色濃く残る

大規模な災害が発生した時は行政内

部はもろろんのこと、市民の方ともワンチームとなって当たらなければ乗り越えることはできない

「自助・共助・公助」、それぞれの役割と重要性を共通認識しながら、罹災時に死者を出さないこと、また1日も早く復興するよう、官民一体となって災害対応できる体制を構築していかなければなりません。そのためには皆さんのご協力が必要不可欠です。みんなで力を合わせ、まちの防災力を高めていきましょう！